

①全体の傾向

・ 基本的生活習慣について

挨拶は9割以上の生徒が定着している。

決まりの遵守は、ほとんど身に付いている。

「人の気持ちが分かる人になりたい」「いじめなどはやっていない」の項目で9割以上を占めており、思いやりのある生徒が多いという生徒の実態を裏付けている。

睡眠時間が短い。

携帯電話の使い方やルールを守ることでできない率が高い。

・ 学習面について

授業では各教科とも関心・意欲が高く、8割以上が当てはまると答えている。

休日に1時間以上学習していない生徒の割合が3割ほどいることから、家庭学習の推進を図らなければならない。

②良い点

学校が楽しいと感じる生徒がほとんどである。

忠告に素直に対応し、生活改善を考えようとする。

③課題となる点

家庭生活の中の睡眠時間や起床時間については、好ましいとは言えない状況にある。

学習の計画性が身に付いていないのは4割、予習・復習をしていないのは3割、テスト直しをしていないのは3割いることから、効果的な学習についての指導や声掛けが必要である。

→改善に向けた取組

携帯電話の使い方などの啓発活動

学習計画の立案の仕方、記録の付け方の工夫